7．苦情受理状況

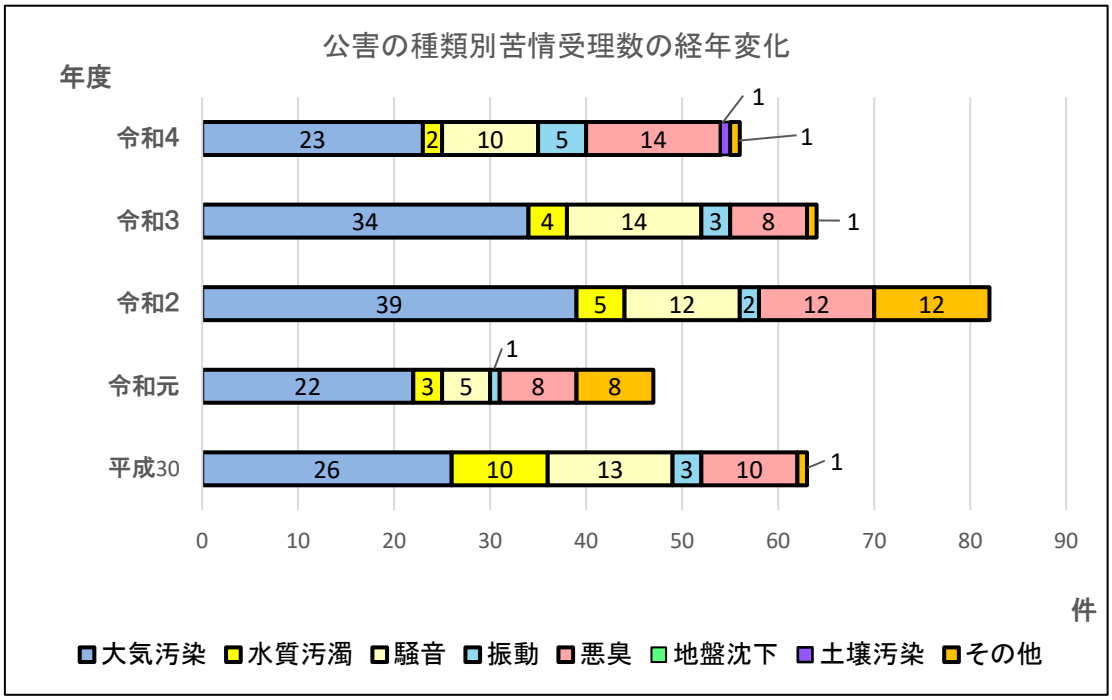
令和４年度における公害苦情受理件数は 56 件で、前年度と比べ８件の減少であった。種類別にみると、大気汚染（野焼き）の割合が高く、全体の４割近くを占めている。住宅と隣接する農地で雑草等を焼却する場合に、苦情申立となることが多い。悪臭は、生活排水や畜産など様々な原因があった。

また、雑草が繁茂している空き地等に対しての苦情は、前年度と比べ 24 件の増加となった。

（1）苦情受理件数と経年変化

種類別苦情受理件数　（単位：件）

種類 / 年度	大気汚染	水質汚濁	騒音	振動	悪臭	地盤沈下	土壌汚染	その他	合計	雑草
令和4年度	23	2	10	5	14	0	1	1	56	226



雑草繁茂による空き地等の苦情件数の経年変化　（単位：件）

	平成 30 年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
苦情件数	161	217	158	202	226